

第2回 福島出張所管内河川レンジャー運営会議 議事要旨

開催日時 : 平成17年5月22日(日) 10:00~12:00
場 所 : 淀川区役所 203会議室
参加人数 : 運営会議委員9名、事務局7名、関係者3名

1. 決定事項

運営会議の座長には小川委員に就任していただく。
運営会議の副座長には河合委員に就任していただく。
河川レンジャー年間活動計画(案)(以下、計画案)が運営会議委員の審議を経て決定された。

2. 懇談会の概要

座長・副座長の選任

事務局より資料の確認行われた。その後、運営会議代表者より、座長として小川委員、副座長として河合委員が推薦を受け、運営会議委員より信任された。

河川レンジャー年間活動計画の審議・決定

小川委員の司会のもと、松岡流域センター担当河川レンジャーおよび淀川フォーラム実行委員会(菊井氏、辻川氏)より、「資料-1 平成17年度 河川レンジャー年間活動計画(案)」を用いて、計画案についての説明が行われた。その後、委員による審議を経て計画案が決定された。

主な意見については「3. 主な意見」を参照。

3. 主な意見

座長・副座長の選任について

第1回運営会議は地元有識者が欠席されていたため、西川出張所長が座長として選任されたが、淀川河川事務所が設置する会議を職員が進行させることは好ましくなく、地元有識者に座長をお願いしたい。

座長には地元有識者である小川委員または河合委員に就任していただきたいが、両名とも多忙であることから、座長および副座長として両名にそれぞれ就任していただき、座長欠席時は副座長に会議の進行をお任せしたい。

河川レンジャー年間活動計画(案)について

「活動 水質調査・野鳥観察」の調査とりまとめに際して、活動結果を後に残るようなかたちで整理してはどうか。

以前に野鳥観察の成果をまとめた「野鳥カルタ」を作成し、大阪市の紹介により行った小学校の講習で教材として使用し、好評を得た。また、地元の高校教員の協力を得て作成した英訳版がテレビでニュースとして取り上げられた。現段階では「野鳥カルタ」を野鳥観察の集大成と考えているが、今後は別のまとめかたをした「淀川野鳥図鑑」をつくりたいと考えている。

「活動 野鳥観察」について、参加者の年齢が上がると継続的に参加してもらうことが難しく、次世代の人材がなかなか育たないと感じる。

「活動 野鳥観察」について、本年はヨシ刈りを行ったおかげで新規に発見した野鳥数が増えているように思われるため、ヨシ刈りの実施を継続してほしい。

ヨシを刈ることにより、人が野鳥の生息域に近づきやすくなり、鳥が逃げてしまうと

いった弊害も考えられる。

「活動 野鳥観察」のフィールドである十三干潟は、潮干狩りを行う親子連れによって鳥の観察が難しくなっている。お互いを尊重して活動できるような方策を本運営会議等で考えていきたいと思う。

河川レンジャー活動に対する行政の支援計画はどのようになっているか。

淀川区役所は、これまでも河川レンジャーが行っている定例野鳥観察会等への支援を行っており、これからも引き続き支援をしていきたい。

現在、仮称となっている河川レンジャー活動の正式名称については、広報をするにあたって正式なものを決定したい。低年齢層が親しみやすい名称を考えたい。

現在は日ごろから災害の危険性を感じるものが少なく、「活動 防災の推進を図る活動」を通じて、それらを感じてもらいたい。また、参加者には防災面だけに偏るのではなく、自然環境とのバランスについても考えてほしいと思う。

平成 16 年に災害が多発したことから、災害について関心を持っている人は多いと思う。その記憶に新しいうちに、防災の推進を図る活動を行っていきたいと思う。

「活動 地域への啓発活動」については、内容があまり行政寄りにならないようにしたい。

学校教員に協力を依頼する活動においては、教員に活動の趣旨・内容を理解しておいてもらう必要があると思う。夏季・冬季休暇中に研修を行えば、関心のある教員は受講すると思うので、そのようなことも検討してほしいと思う。